

都市計画事業

京阪本線淀駅付近立体交差化事業



複線高架切替直前

京都市 / 京阪電気鉄道株式会社 / 日本中央競馬会

ごあいさつ



京都市長

門川 大作

市民の皆様をはじめ京都のあらゆる力を結集して本市が進める「ひとと公共交通を優先し、環境と共生するまちづくり」が、また一つ大きく前進しました。

この度、地元地域の皆様からも御要望いただき、京阪電気鉄道株式会社、日本中央競馬会、京都市の三者で協力し、平成11年から進めて参りました京阪淀駅周辺の立体交差化事業複線高架が完成の運びとなりましたことを、誠にうれしく存じます。本事業の推進に多大の御理解・御協力をいただきました地元の皆様をはじめ関係者の皆様に心から感謝を申し上げます。

複線高架の完成により、下津、淀、池上の3箇所の踏切がなくなり、これまで、特に競馬開催時に問題となっていました交通渋滞が緩和され、歩行者の安全性を確保することができました。また、併せて整備を進めております駅前広場が、ターミナル機能を備えた都市のコミュニティ空間として新たに生まれ変わることにより、地域の魅力は更に高まって参ります。

本市では、引き続き、平成25年度の事業完了に向け、残る出入庫線工事や側道等の整備を進め、地域の皆様の利便性の向上と、更なるまちの活性化に努めて参ります。

今後とも、市民の皆様と共に汗しながら、「京都に住んでて良かった」「この地域に住んでて良かった」と実感していただける、魅力溢れるまちづくりに全力で取り組んで参ります。皆様の温かい御理解と御支援をお願い申し上げます。



京阪電気鉄道株式会社
代表取締役社長

上田 成之助

このたび、京阪本線淀駅付近立体交差化事業の複線高架が、平成11年の工事着手以来、約11年の歳月をかけてようやく完成する運びとなり、誠に喜ばしく存じます。

これもひとえに、京都市、日本中央競馬会のご尽力並びに地元関係各位の温かいご理解とご協力の賜物であり、心より厚くお礼申し上げます。

複線高架の完成に伴い、3箇所の踏切道を廃止し運転保安度が向上するとともに、駅改札口から専用連絡デッキを通じて競馬場に接続する新たなルートが完成するなど、お客様の利便性が高まりました。また、景観に配慮した駅舎は、地域の歴史と深くかかわる『水』をモチーフにした大屋根が特長で、ホーム全体が透明感のある開放的な空間になっております。

新しい淀駅が、緑豊かな周辺環境と調和し、地域の皆様に親しまれるとともに、将来の地域づくりの拠点として大きく貢献できるように努めてまいります。

引き続き、駅及び淀車庫出入庫線の残工事を進めてまいります。ご不便をおかけしますが、今しばらくのご容赦をお願い申し上げます。

さて、昨年、弊社は開業100周年を迎えることができました。今年は次の100年に向けての新たな船出の年であり、この複線高架完成が新たな歴史を刻む一歩となりました。今後とも、『お客様にやさしい鉄道』を常に目指し、全力を注いでまいりますので、皆様方の相変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



日本中央競馬会
理事長

土川 健之

本日ここに京阪淀駅付近の複線高架が完成いたしますことを、心よりお喜び申し上げます。当事業は平成11年の着工以来、10年を超える工期となりましたが、京都市、京阪電気鉄道株式会社をはじめ関係各位のご尽力に心より敬意を表したいと思います。

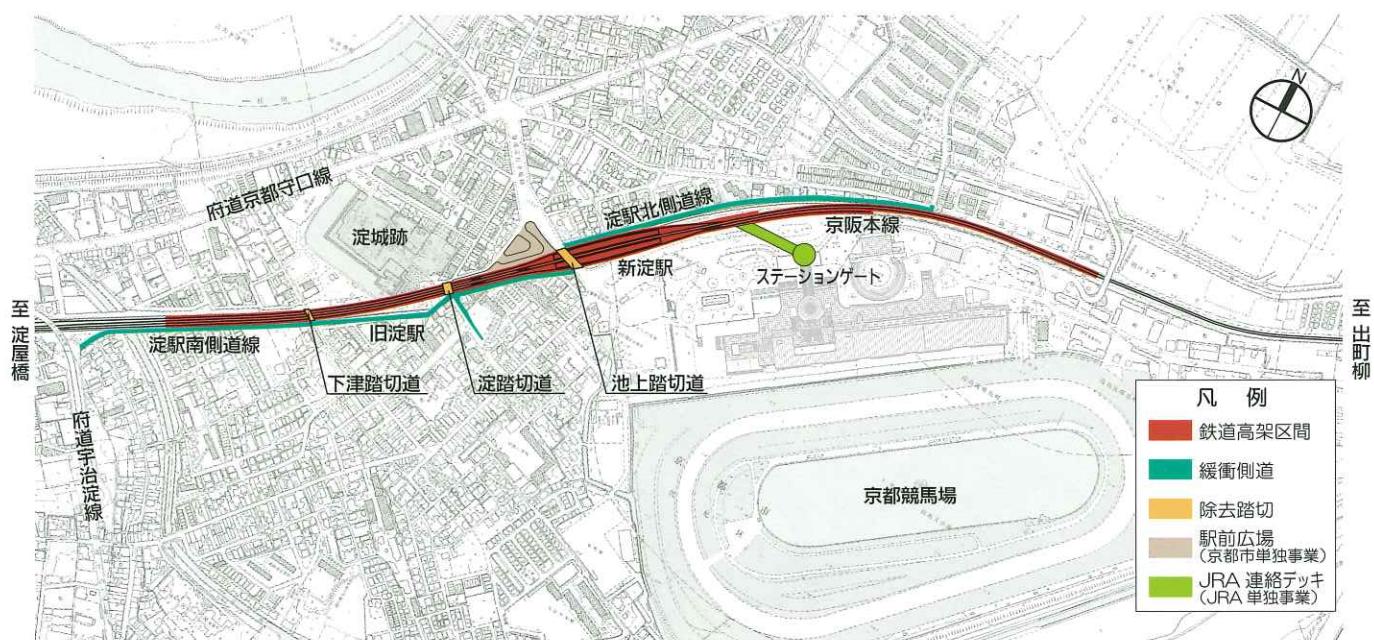
京都競馬場がこの淀の地に開設されて85年、地域の皆様のご理解・ご支援をいただきながら歩んでまいりました。JRAいたしましては、今般の京阪淀駅の立体交差化を通じまして、京都競馬場周辺にお住まいの皆様の円滑な交通の確保、ひいては地域の振興に少しでもお役に立てればと考えております。

また、競馬場にお越しいただくお客様にとりましても、利便性が向上されるものと大いに期待しております。

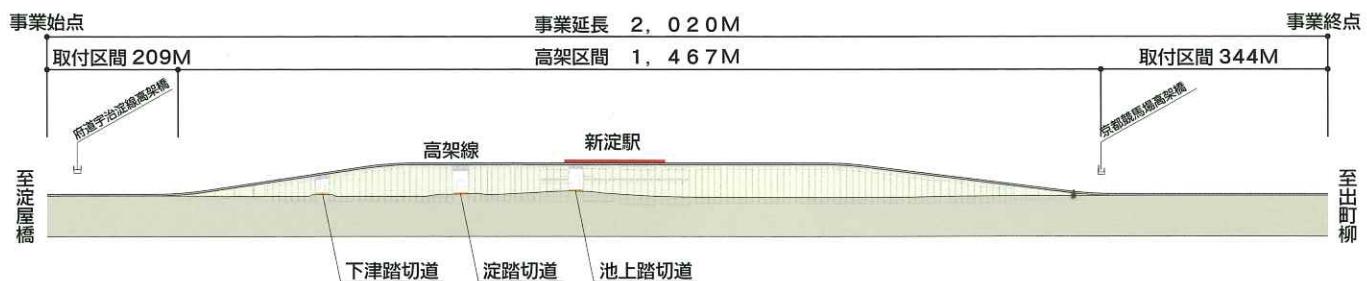
この事業につきましては、JRAの利益の一部を活用させていただきましたが、こうした仕組みでの事業の中では、全国的に最も大きな規模の事業でございます。今回、この複線高架が完成いたしましたことにより、淀のまちづくりに微力ながらもご協力させていただけたものと存じます。

これまで幾多の名勝負が繰り広げられてきた京都競馬場ですが、今後も地域の皆様に愛される競馬場であり続けるよう努めてまいる所存でございますので、引き続きご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

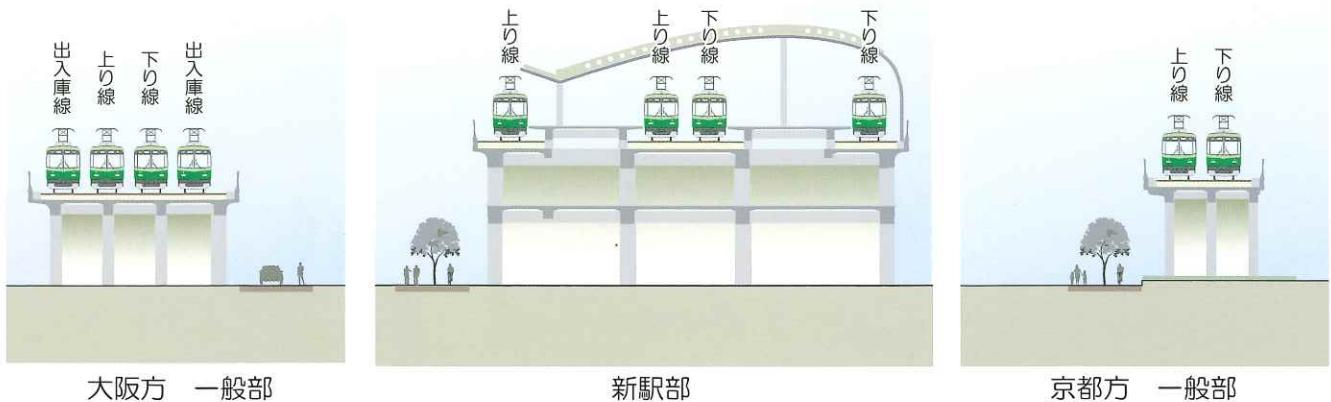
■ 平面図



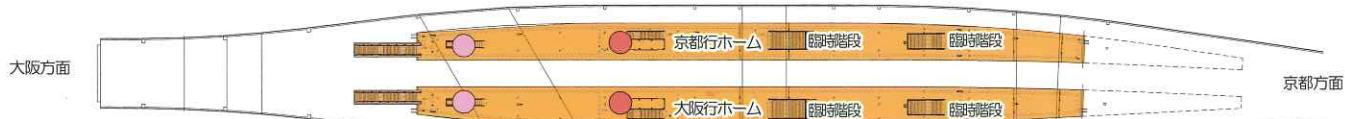
■ 縦断面図



■ 横断面図



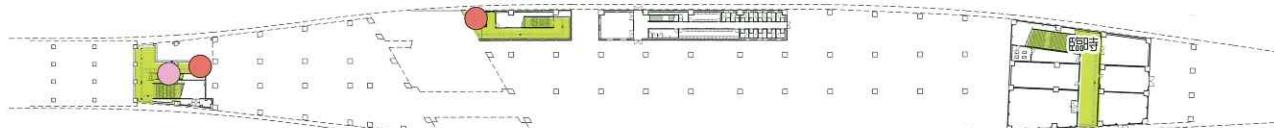
●淀駅のレイアウト（完成平面図）



○ホーム階



○コンコース階



○地上階

凡
例

- | | |
|-----------|---------|
| 駅施設部分 | エレベーター |
| 駅施設部分(臨時) | エスカレーター |
| 通路部分 | |



■淀駅出入口



■淀駅コンコース



■淀駅ホーム（大阪行）

■ J R A 連絡デッキ



■完成イメージ

本事業により、新たに建設される駅や高架構造物が、まちづくりと調和するとともに、「地域のシンボル」のひとつとなるようデザイン検討を進めてまいりました。

また、淀地域は、歴史的に「水」と深く関わりを持つことから、水のもつ「美しさ」をイメージしたデザインとしております。



【J R A 連絡デッキ運用時間】

競馬開催時 7:30 ~ 18:00

※基本的に上記時間の運用ですが、
催しにより運用時間を変更するこ
とがあります。

●事業の概要

京阪本線淀駅付近については、自転車・バイクなどの不法駐車や、下津・淀・池上の踏切の影響から、周辺地域の円滑な交通の妨げとなっています。特に競馬開催時には交通混雑が発生していることから、市民生活や産業活動に影響がでています。

このため、淀駅を含めた鉄道の高架化や緩衝側道を整備することにより、“交通渋滞の緩和と安全性の確保”“利便性の向上”“環境保全と生活環境の向上”を図り、“まちの活性化”に寄与していきます。

1. 事業の種類	都市計画事業		
2. 施行者	事業主体	京都市	
	鉄道施工主体	京阪電気鉄道株式会社	
3. 区間	伏見区 淀木津町 地先	～	伏見区 納所下野 地先
4. 延長	2,020m (うち高架区間 1,467m)		
5. 事業費	約280億円		
6. 除却踏切	3ヶ所 (下津・淀・池上)		
7. 構造	高架橋 (新淀駅 島式ホーム2面・4線)		
8. 関連都市施設	<ul style="list-style-type: none">都市計画道路 淀駅南側道線 延長：790m 幅員：6m淀駅北側道線（自転車歩行者道） 延長：570m 幅員：6m自転車等駐車場 高架下に設置		

●複線高架後の状況

下津踏切道



着手前



複線高架後

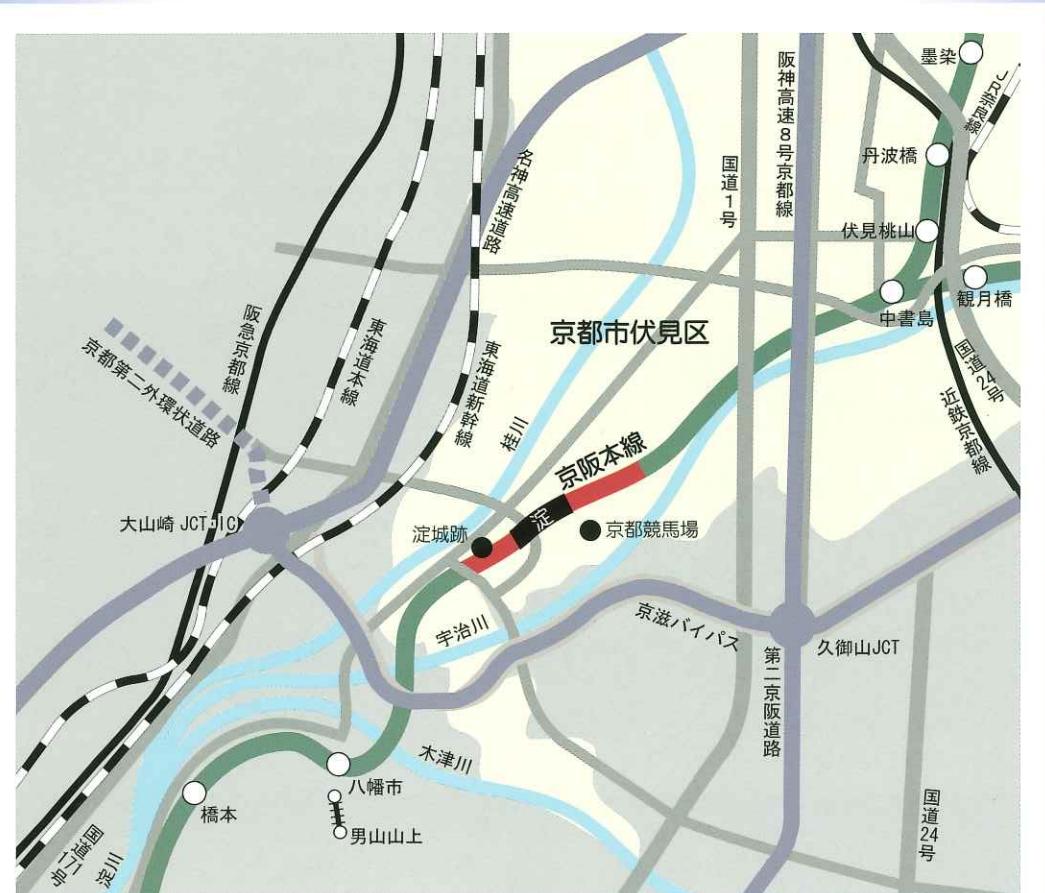


淀踏切道



池上踏切道





事業施行区間

お問い合わせは下記へ

京都市 建設局
事業推進室 TEL:075-213-3659

京阪電気鉄道株式会社
工務部 TEL:075-632-3761

